

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

専門分野区分	簿記会計	科目名	原価計算Ⅱ			科目コード	T1820A1			
配当期	後期	授業実施形態	通常			単位数	2 単位			
担当教員名	河本 順子	履修グループ	2I(BO)			授業方法	講義			
実務経験の内容	約10年間会計ソフト及び簿記について、企業や官公庁への指導経験を活かし、原価計算について実務で活用できるように講義する。									
学習一般目標	本授業では、日本商工会議所主催の日商簿記2級(工業簿記)の基礎から応用レベルの知識を修得し、実務で活用できることを目指す。 製品の製造方法により計算方法を使い分けできるようになる。									
授業の概要および学習上の助言	原価計算の応用 部門別・費目別計算の応用 問題演習									
教科書および参考書	サクッとわかる日商2級 テキスト 工業簿記 ネットスクール出版 サクッとわかる日商2級 トレーニング 工業簿記 ネットスクール出版									
履修に必要な予備知識や技能	前期に学習した原価計算Ⅰの知識を有していることが望ましい。									
使用機器	電卓									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2	CVP分析、本社工場会計について説明できる。								
	1/2	個別原価計算、部門別計算、費目別計算ができる。								
	3	授業に意欲をもって取り組むことができる。								
	5	授業に意欲をもって取り組むことができる。								
	4	なし								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30	10						40
		2.思考・判断	20							20
		3.態度							20	20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
	総合評価割合		50	10					40	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								
試験		定期試験期間中に試験を行う。								

小テスト	授業期間中に小テストを行う。
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業態度(集中して授業を受けているか)及び授業参加(積極的に発言しているか)により評価する。

### 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 第1章 工業簿記の基礎の復習	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第2回	第2章、第10章 費用別計算の応用	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第3回	第3章 製造間接費の配賦の応用	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第4回	第4章 総合原価計算の応用(前半) 等級別総合原価計算・組別総合原価計算	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第5回	第5章 総合原価計算の応用(後半) 工程別総合原価計算	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第6回	第6章 標準原価計算の応用(前半) 直接材料費差異・直接労務費差異	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第7回	第6章 標準原価計算の応用(後半) 製造間接費差異	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第8回	第7章 CVP分析と直接原価計算の応用 損益分岐点分析	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第9回	第8章 個別原価計算の応用(前半) 製造指図書	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第10回	第8章 個別原価計算の応用(後半) 原価計算表	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第11回	第9章 部門別計算の応用(前半) 第1次集計	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第12回	第9章 部門別計算の応用(後半) 第2次集計	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第13回	第11章 本社工場会計の応用	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第14回	課題解決型授業1 授業で学んだ内容に関する課題 ※詳細は別途指示	遠隔授業 実施時期:6期(11/16-11/30)	授業内容を復習
第15回	課題解決型授業2 授業で学んだ内容に関する課題 ※詳細は別途指示	遠隔授業 実施時期:8期(12/16-1/15)	授業内容を復習